



RA
& IL-6

第4回 RAとIL-6研究会

日時

2015年10月10日(土) 15:00~18:30

会場

ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン宴会場階「鶴の間」

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL03-3265-1111

ACCESS



電車でのアクセス

- 赤坂見附駅 (地下鉄 銀座線・丸ノ内線) D紀尾井町口 3分
- 永田町駅 (地下鉄 半蔵門線) 7番口 3分
- 麹町駅 (地下鉄 有楽町線) 2番口 6分
- 四ツ谷駅 (JR 中央線・総武線、地下鉄 丸ノ内線・南北線) 麹町口・赤坂口 8分

お車でのアクセス

- 首都高速 霞ヶ関ランプより 約10分
- 東京より 約20分
- 新宿より 約15分
- 羽田空港より 約40分
- 成田空港より 約90分

※道路交通状況により所要時間は前後いたします。

すべての革新は患者さんのために

主催： CHUGAI 中外製薬株式会社

Roche ロシュグループ

Opening Remarks	岸本 忠三 先生 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫機能統御学 教授	15:00 - 15:10
Session1		15:10 - 15:55
	座長：三森 経世 先生 京都大学大学院医学研究科 臨床免疫学 教授 座長：熊ノ郷 淳 先生 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 教授	
1	新規バイオマーカー(14-3-3η)を用いたTCZの効果予測 演者：田中 良哉 先生 産業医科大学医学部第1内科学講座 教授	
2	リンパ球解析からみたIL-6の役割 演者：藤尾 圭志 先生 東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学 講師	
3	濾胞性ヘルパーT細胞分化および関節リウマチの病態におけるBcl3の役割 演者：中島 裕史 先生 千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学 教授	
	〈休憩〉	
Session2		16:10 - 17:15
	座長：桃原 茂樹 先生 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター整形外科 教授 座長：西本 憲弘 先生 大阪リウマチ・膠原病クリニック/東京医科大学医学総合研究所 難病分子制御学部門 兼任教授	
4	関節リウマチにおける自己抗体と各種生物学的製剤の治療効果 演者：佐藤 正夫 先生 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院リウマチセンターセンター長	
5	トシリズマブは血小板高値例でより効果を発現する 演者：松野 博明 先生 医療法人社団松緑会 松野リウマチ整形外科 院長 東京医科大学 客員准教授	
6	KURAMAコホートにみるトシリズマブの適応と可能性 演者：橋本 求 先生 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター 特定助教	
7	The possibilities of RA treatment with biologics including IL-6 receptor inhibition in consideration subclinical CV risk 演者：Jon T Giles, MD MPH Columbia University,	
	〈休憩〉	
Session3		17:30 - 18:25
	座長：高崎 芳成 先生 順天堂大学医学部 膠原病内科 教授 座長：渥美 達也 先生 北海道大学大学院医学研究科 免疫・代謝内科学分野 教授	
8	TCZの1stlineエビデンスを総括する 演者：石黒 直樹 先生 名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授	
9	IORRAからみたBeyond Remissionとトシリズマブ 演者：山中 寿 先生 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長	
10	IL-6阻害によるサイトカインプロファイルと新たな可能性 演者：竹内 勤 先生 慶應義塾大学医学部 リウマチ内科 教授	
Closing Remarks	山本 一彦 先生 東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学 教授	18:25 - 18:30